

ついでレポ No. 433



日本共産党中央区議団議員 おぐり智恵子 の

議員活動報告

事務所: 中央区日本橋人形町1-10-8
自宅: Tel/Fax 3249-1762発行・日本共産党中央区議団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

新型コロナ対策と「ポストコロナ」の社会のあり方を問う

中央区議会第二回定例会で一般質問



本会議で質問する
奥村あきこ議員

中央区議会第二回定例会が6月19日から6月30日まで行われました。6月22日には、日本共産党中央区議団を代表して、奥村あきこ議員が一般質問を行いました。

命とくらしを守る社会へ

世界で猛威をふるう新型コロナウイルスウィルスの感染拡大で、多くの人が仕事と住まいを失い、命の危機にさらされています。「日本と世界のあり方はこれでいいのか」ということが根本から問い直される状況となっています。

奥村あきこ議員は、「新自由主義による社会保障・福祉の切り捨て路線を転換して、社会保障・福祉に手厚い国をつくる、また、労働法制の規制緩和路線を転換して、

人間らしい労働のルールをしつかりつくりあげていくことが必要」だとして区長の見解を求めました。

「ポストコロナ」のまちづくりを

奥村議員は「ポストコロナ」のまちづくりを見据え、「人が集中し、感染症蔓延のリスクを伴う一極集中型の過密なまちづくりから、分散型のまちづくりへ転換する」よう求めました。

中央区は今年度、7件の市街地再開発事業に対し196億円の補助金を投入。中央区の一般会計予算約1184億の約17%にあたる金額です。

奥村あきこ議員は、巨

【質問事項】

1. 「ポストコロナ」の社会のあり方について
2. 医療体制の拡充について
3. 生活支援について
4. 区内事業者への支援について
5. 子どもたちの学びと安全の保障について

中央区PCR検査センター 開設期間が延長されます



新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。

中央区では、佃の中央区休日応急診療所内に設置したPCR検査センターを9月末まで延長することになりました。

発熱などでご心配の方は、かかりつけ医など区内医療機関や、保健所にご相談ください。

—PCR検査の結果は以下のとおりです—
5月13日～7月11日まで 検査数合計 494
内 陰性 460 陽性 34 (陽性率 6.88%)

おぐり智恵子のブログ
ほぼ毎日更新中



▲党区議団HPに
質問全文を掲載中



大開発に税金を投入するより「コロナ対策に税金を振り分けるべきでは」と質問。区長は「長時間通勤を必要としない近接した住まいづくりが求められ、市街地再開発は必要」と、今後も大規模開発を続けていく姿勢を示しました。

区民生活と与える支援を早急に

日本共産党区議団は、本会議質問や委員会での質問で、コロナ禍のもと、子育て世帯、生活困窮世帯への支援策や、区内事業者への支援を繰り返し求めてきました。

事業者への家賃支援を

区内事業者の方から「家賃などの固定費の支払いが重くのしかかっている」という声が寄せられ、中央民主商工会のみなさんから、4月に区長・議長宛の「家賃・リース料への直接支援」を求める陳情書が出されています。

新宿区や杉並区、板橋区は、国の制度に先駆け、家賃支援補助を行っています。
中央区でもこうした

家賃補助の施策が必要だと、繰り返し提案してきましたが、「中央区は事業所の数が多く、難しい」「国や都が同様の措置を講ずるので、区は融資や共通買物券を中心に事業者支援を行っていく」という姿勢に終始しています。

家賃補助については、ようやく、7月14日から、国の制度で地代・家賃（賃料）の負担を軽減する「家賃支援給付金」の申請受付が始まっています。

ご利用ください。

経済産業省HP
「家賃支援給付金」
に関するお知らせ▼



少人数学級の実施を

コロナ禍の中で、子どもたちの健康をまもりながら、一人ひとりに丁寧な教育をすすめるため、教員の大増員による少人数学級実施に大きく踏み出すことが必要です。

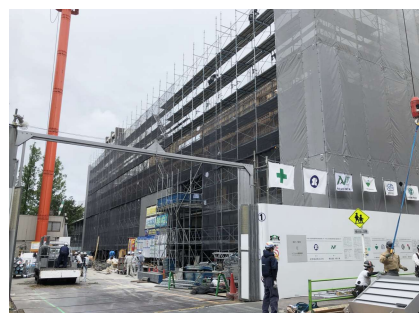
奥村議員は、本会議での質問で、スクールカウンセラーなどを増員し、子どもたちの心のケアを強化することや、感染防止の「身体的距離」をとるためにも、少人数学級を早期に実施することを求めました。
教育長は「少人数学級については国や都の議論を注視する」との答弁にとどまりました。



一桜川保育園・敬老館と特養ホーム 来年2月開設一

八丁堀駅そばの桜川保育園・敬老館の改築工事が進められています。複合施設として新たに地域密着型特別養護老人ホームを4～6階に整備し、来年2月～3月に開設されることになりました。

■開設日 保育園＝2021年2月1日、
敬老館＝2月9日、特養ホーム＝3月22日



改築工事が進む桜川
敬老館等複合施設
11月11日撮影

■地域密着型特別養護老人ホームの施設内容

運営事業者 社会福祉法人わとなーる
施設規模 ・特別養護老人ホーム 定員29名
・ショートステイ 定員 8名
・認知症高齢者グループホーム 定員18名

■一般公開 2021年1月29日10時～15時
「区のおしらせちゅうおう」に掲載されます

なんでも 生活相談

090-4721-0070（おぐり携帯）
03-3531-6820（中央地区委員会）

無料 法律相談

毎月第3火曜日3時から
要予約 連絡先は同上

